

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	社会人のキャリアアップ教育プログラム	
事業名	デザインの視点・発想・スキルで「自分をアップするエントリー講座」	
法人名	学校法人 服部学園	
学校名	御茶の水美術専門学校	
代表者	理事長 服部浩美	担当者 清水 眞 連絡先 mshimizu@ochabi.ac.jp

1. 事業の概要

デザインの視点・発想・スキルで「自分をアップするエントリー講座」の内容をすべて含む実証講座とするために、「株式会社エイ・ネット社リクルートTVCMのVIDEOコンテ」を自際に動画制作しプレゼンテーションすることを使命とした。募集ターゲットは向上心の強い女性ビジネス・パーソンとした。そのために「ケイコとマナブ」WEB広告と、連動するホームページ広告を掲載した。

実際のTVCM制作というハードルの高さにもかかわらず15名がエントリー、木曜夜間3時間、土曜昼間6時間を、13週間続けるハードなものであるにもかかわらず持続参加者は9名残った。木曜はデッサンを中心として絵コンテのスキルをアップ。土曜にTVCMを制作するための、リサーチ、ベンチマークを中心とするマーケティングのためのプレーンストーミング法、情報のKEYWORDカード整理法、

整理カードからのコンセプト出し、コンセプトからのストーリーメイキング、絵コンテ、撮影用絵コンテの作画、絵コンテの撮影、プレミアムソフトによるPCへの取り込み、PCでの音楽取り込み、ナレーション、キャッチコピー制作、取り込み、総合編集、プレゼンテーション企画書の制作、プレゼンテーション用絵コンテ完成パッケージの制作、プレゼンテーションの実施という全作業をはじめてにもかかわらず実行した。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

受講者は、デザインの視点・発想・スキルで「自分をアップするエントリー講座」という当初目的以上の達成を果たした。おそらくセカンド・ゾーンに属する受講者の成長は著しい。

②事業により得られた成果

受講者は当初、学校というイメージが強く、「教えてもらう・習う」教育構造において「指示を待つ姿勢」が見られたが、クリエイティブな講座が進むにつれて「探しながら・学ぶ」、または「つくりながら・まなぶ」教育格合うに、パラダイムシフトしていく成長プロセスがみられた。

③今後の活用

従来、クリエイティブ業界が自然と実行していた、リアリティーのある「つくりながら・学ぶ」教育構造の実質的成果は、実は、「本当に良い上級学校」を選別しなければならない高校キャリア教育にとっても大きな指導法となることを発見した。したがって、この報告書に関東1,000校の進路指導室に配布することを決定した。その後の教師研修会等でも積極的な議論を行い普及に努めた。

④次年度以降における課題・展開

専門学校におけるTVCM制作ゼミを導入する。また「キャリア教育」模擬授業など、高校との連携指導を図りながら「つくりながら・学ぶ」教育構造の普及に尽くしたい。さらに企業大学におけるクリエイティブ教育プログラムを開発し実施する。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①履修証明書等

資料別添:以下の9名に発行した。

細田潤子 中嶋瑞穂 標葉裕美子 渡部里美 長谷川香織 藤井美智子 平野賢 田谷陽子 平野妙子

#### ②カリキュラムの内容

今回のターゲットは、一般企業の社会人です。彼らがデザイナーやクリエイターの発想と制作を学ぶプロセスから、自分の仕事における発想やスキルアップにフィードバックできることが出発時のテーマでした。募集の結果、意識の高いビジネス・パーソンが参加し、これからの日本でトップクラスが、さらに伸びる余地と可能性を実現できるカリキュラムとなった。

デザインの視点・発想・スキルで「自分をアップするエントリー講座」のすべてを含むカリキュラムは、TVCM制作が該当する。実際の協力企業として三宅一生グループの株エイ・ネット社に実施にオリエンテーションから取材、プレゼンテーションまでを一貫して協力していただいた。

社会人がすべて初めての講座であるにもかかわらず、スムーズに取り組めるように絵コンテ力を上げるデッサン系とTVCMを調査企画するところから制作までを行う制作系の単純な2系とした。

具体的シラバスは下記に添付した。別資料として分かりやすい別表も提出してある。

#### ③講座の実施

文部科学省 平成20年度委託事業

「デザインの視点・発想・スキルで自分をアップするエントリー講座」

実証講座「エイ・ネット社リクルートTVCF VIDEOコンテ制作」プログラム

	日程	総コマ数	アトリエ	シラバス	得られる成果
第1回実施委員会	9/5			企業の選定	女性の興味ある企業が条件
				企業との折衝	
第2回実施委員会	10/3			企業の決定・TVCF制作のテーマの選定	株式会社エイ・ネット社意 リクルートCMに決定
第3回実施委員会	10/10			Web告知媒体の決定・デザイン制作	募集ターゲット 高度ビジネスパーソン・女性
第4回実施委員会	10/15			Web広告入校	美術学校という環境で学ぶ
第5回実施委員会	10/20			カリキュラム・コンセプトの決定	TVCM制作フロー構築
第6回実施委員会	10/30			カリキュラム構造・講師の決定	講師キャスティング
1	11/20	1コマ	151	全体工程オリエンテーション・講師紹介・受講生自己紹介	知り合う
2	11/22	3コマ	212	発想工程1:「ウェアラブルな時計」開発の全プロセス体験	プログラムへの信頼醸成
3	11/27	4コマ	151	デッサン レベル1 モチーフ:ボ어링のピン	デッサン・レクチャー
4	11/29	6コマ	212	発想工程2:クライアント:エイ・ネット社の発表 取材報告&WEBでの情報検索法	情報収集における 仮設視点の発見と検索法
5	12/4	7コマ	151	デッサン レベル2 男性セミヌード(トランクス)	初めてのクロッキー
				12・21日に午前振替	
6	12/6	9コマ	212	発想工程3:情報のプレストとKEYWORDによる カード整理	KEYWORDカード整理法
7	12/11	10コマ	151	デッサン レベル3 女性コスチューム	布と身体の関係把握
				12/21(日)に午後振り返られる	
8	12/13	12コマ	212	発想工程4:KEYWORDカードからのコンセプト 発見	KEYWORDのアブダクション法

9	12/18	13コマ	151	デッサン レベル4女性セミヌード 12/21(日)に振り返られる(午前or午後)	ムービングポーズのクロッキー
10	12/20	15コマ	212	発想工程5:コンセプトからのストーリーメイキング	コンセプトをストーリーで表現する
11	12/25	16コマ	151	デッサン レベル5 幾何石膏	光と陰の把握
12	12/27	18コマ	341a.c	発想工程6:ストーリーメイキングをラフ絵コンテに起こす	ストーリーを絵コンテに起こす
13	1/8	19コマ	151	デッサン レベル6 リンゴ 1/11(日)に振り返られる(午前or午後)	ディティール表現の把握
14	1/10	21コマ	341a.c	エイ・ネット社訪問取材	仮説絵コンテを持ってリアルに会社を体験する
15	1/15	22コマ		デッサン レベル7 女性セミヌード 1/25(日)に振り返られる(午前or午後)	外国人固定ポーズ
16	1/17	24コマ	341a.c	絵コンテ工程1:TVCF絵コンテ再構成	仮説と取材とのギャップからの新視点コンセプト発見
17	1/22	25コマ	151	デッサン レベル8 ガラス製ビールジョッキ 1/25(日)午前に振り返られる	透明な質感表現
18	1/24	27コマ	341a	絵コンテ工程2:プレゼンテーション用絵コンテ完成	ギャップからの深いコンセプト発見
19	1/29	28コマ	151	デッサン レベル9 石膏像(手と足)	美しさの把握
20	1/31	30コマ	352a.c	絵コンテ工程3:TVCF撮影用コンテ制作完成	ドローイング学習成果との統合
21	2/5	31コマ	352a.c		
22	2/7	33コマ	352a.c	撮影工程1:絵コンテ撮影	撮影技術とカメラワーク
23	2/12	34コマ	352a.c		
24	2/14	36コマ	352a.c	編集工程1:音楽&音入れ工程:NA取り	ナレーション&コピー制作
25	2/19	37コマ	352a.c		
26	2/21	39コマ	352a.c	編集工程2:試写と再編集	編集技術
27	2/26	40コマ	352a.c	プレゼンテーション用完パケ試写・プレゼンテーション指導	プレゼンテーション完成パッケージ
28	2/28	42コマ	341a.	エイ・ネット社様へのプレゼンテーション&卒業式&感想会	プレゼンテーションにて真の成果を問う
	3/10			報告会	
	3/23			報告書提出	

#### ④支援対象者(受講者)の状況

事後アンケート:全員が日常の仕事への意識が大きく変化したとのこと。また、仕事を待つ態度から、自ら作り出すクリエイティブな仕事姿勢へと変化したと報告を受ける。今後どのように木曜と土曜を過ごしたらよいかと思うという感想もあった。